



オーストラリア・インカム・バランス・ファンド (毎月分配型) / (1年決算型)

愛称: **まるごとオージー**

設定後のポートフォリオ構築の状況について

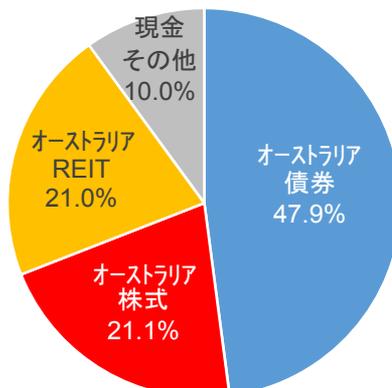
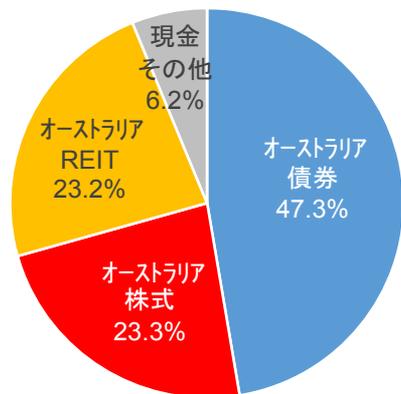
「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型) / (1年決算型)」は、2018年1月31日より運用を開始いたしました。その翌々営業日にあたる2月2日に、ポートフォリオの構築を完了しました。

当資料では、2月2日現在の投資対象ファンド毎のポートフォリオの概況と、足元の投資環境などについてご紹介いたします。

ポートフォリオの組入比率 (2018年2月2日現在)

【毎月分配型】

【1年決算型】



【ご参考】利回り(概算値) (2018年2月2日現在)

毎月分配型	1年決算型
3.5%	3.3%

※利回り(概算値)は、当ファンドが投資対象とする外国投資信託やマザーファンドの利回り(2~4ページの「ポートフォリオの状況」を参照)に、左記のポートフォリオの組入比率を用いて簡便的に計算した概算値であり、当ファンドの実際の利回りを示すものではありません。あくまでも、傾向を知るための参考値としてご覧ください。

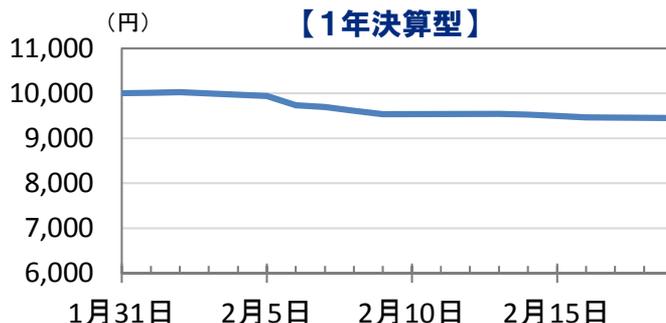
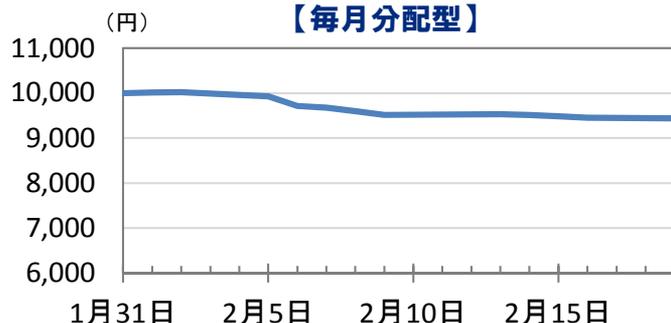
※上記グラフは、当ファンドが投資対象とする以下のファンドの組入比率です。
オーストラリア債券: 外国投資信託「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」、オーストラリア株式: 「オーストラリア株式ファンド(適格機関投資家向け)」、オーストラリアREIT: 「オーストラリア・プロパティ・ファンド(適格機関投資家向け)」

※上記の比率は、対純資産総額比です。

基準価額の推移 (2018年1月31日~2月19日)

【毎月分配型】

【1年決算型】



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」を参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型) / (1年決算型) <愛称: まるごとオージー>」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

★ ポートフォリオの状況： オーストラリア債券部分（2018年2月2日現在）

◆投資対象ファンドである外国投資信託「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」の内容です。各比率は、当外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

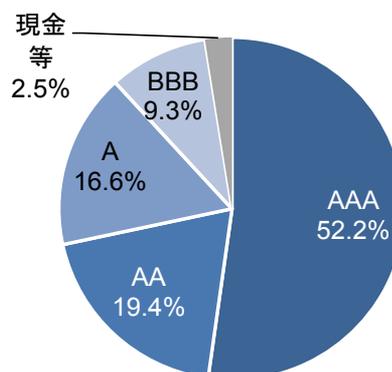
【利回りなど】

平均直接利回り	3.73%
平均最終利回り	2.95%
平均残存期間	6.5年
平均デュレーション	5.3年

※直接利回りおよび最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

【格付別構成比率】



※円グラフの値は、四捨五入の関係で誤差が生じる場合があります。

【債券種別構成比率】

種別	比率
国債	19.8%
準政府債	24.3%
社債等	46.1%
国際機関債等	7.3%
現金その他	2.5%

※準政府債とは、州などが発行する債券です。

【平均格付】

平均格付	A+
------	----

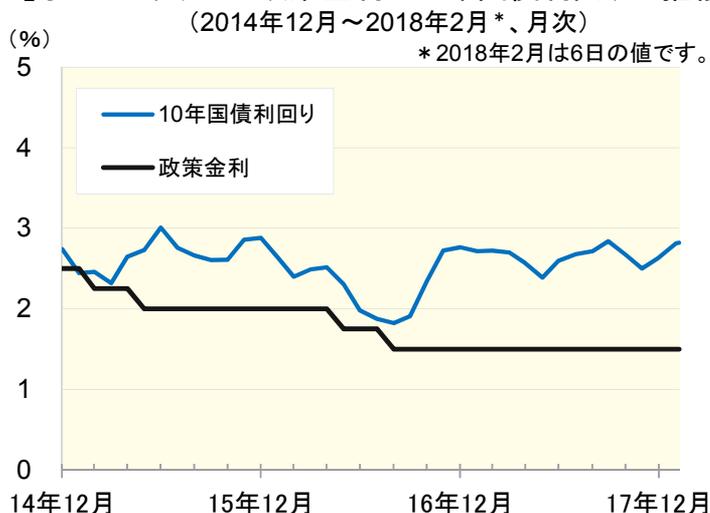
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

★ 足元の投資環境などについて： オーストラリア債券

足元のオーストラリアの債券利回りは、オーストラリアの小売売上高や住宅建設許可件数が市場予想を上回ったことなどから、上昇（債券価格は下落）しました。

中央銀行であるオーストラリア準備銀行(RBA)は、2月6日の金融政策会合において、市場予想どおり、政策金利を1.50%で据え置きました。RBAは、「経済の持続的成長と長期的なインフレ目標が整合的になるまで据え置く」との見解を示しました。なお、足元の消費者物価指数(CPI)は、インフレ目標(2~3%)の下限を下回っています(2017年12月末のCPIは1.9%)。

【オーストラリアの政策金利と10年国債利回りの推移】



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型)／(1年決算型)〈愛称: まるごとオージー〉」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの状況： オーストラリア株式部分（2018年2月2日現在）

◆投資対象ファンドである「オーストラリア株式ファンド(適格機関投資家向け)」の投資先である「オーストラリア株式マザーファンド」の内容です。

【資産構成比率】

株式	95.5%
うち先物	0.0%
現金その他	4.5%

※比率は、当マザーファンドの純資産総額比です。

【通貨別投資比率】

通貨	比率
オーストラリアドル	100.0%
その他通貨	0.0%

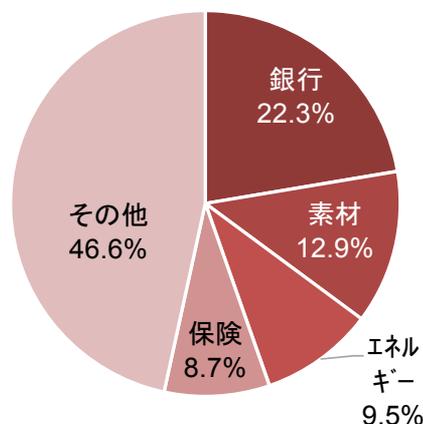
※比率は、当マザーファンドの対組入証券時価総額比です。

【利回り】

予想配当利回り	4.30%
---------	-------

※予想配当利回りは、2018年2月2日時点で組入れている各組入証券の予想配当利回りを当マザーファンド全体の組入証券時価評価額のウェイトで加重平均したものです。また、信託報酬等の費用を控除したものではありません。
※予想配当利回りは、当マザーファンドの利回りや運用成果などを約束するものではありません。

【セクター別構成比率】



※比率は、当マザーファンドの対組入証券時価総額比です。
※円グラフの値は、四捨五入の関係で誤差が生じる場合があります。

足元の投資環境などについて： オーストラリア株式

オーストラリア株式は、2016年以降、主要国の景気見通しの改善などを背景に上昇基調でしたが、2018年に入り、一時、約10年ぶりの高値をつけたことによる警戒感などから、値下がりました。

世界経済の成長は、引き続き明るい兆候が見受けられます。ただし、地政学リスクや主要国・地域の金融政策の動向によっては、今後の株式市場に困難な状況を見通しは、引き続き良好です。国内企業は、低金利、商品価格の回復、経済成長の継続などから恩恵を享受できるとみられています。

【オーストラリアの株価指数の推移】
(2014年12月末～2018年2月2日)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ポートフォリオの状況： オーストラリアREIT部分（2018年2月2日現在）

◆投資対象ファンドである「オーストラリア・プロパティ・ファンド(適格機関投資家向け)」の投資先である「オーストラリアリートマザーファンド」の内容です。各比率は、当マザーファンドの純資産総額比です。

【利回り】

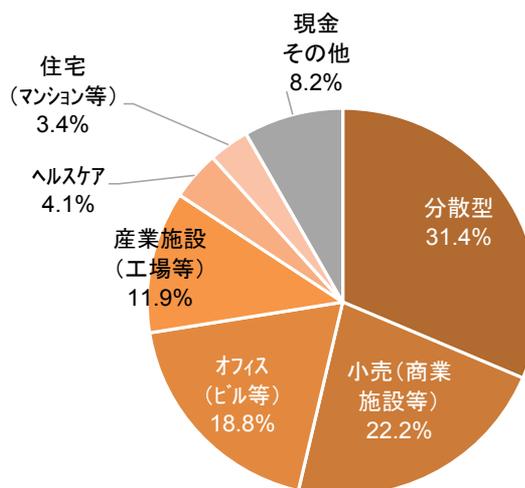
予想分配金利回り(年率換算)	4.60%
----------------	-------

※信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

【組入上位国】

	国名	比率
1	オーストラリア	91.8%

【セクター別構成比率】



※円グラフの値は、四捨五入の関係で誤差が生じる場合があります。

※分散型とは、複数のセクターの物件を併せ持つ不動産投信のことです。

足元の投資環境などについて： オーストラリアREIT

足元のオーストラリアREIT市場は、好調な経済指標の発表が相次いだことを受けて、長期金利が上昇したことなどから軟調となりました。

オーストラリア経済は、消費など内需が堅調ですが、インフレ率が目標レンジを下回る水準にあることなどから、RBAは当面、緩和的な金融政策を維持する見通しです。良好な不動産ファンダメンタルズは、今後も不動産価格を下支えするとみています。また、シドニーとメルボルンのオフィス物件の需給逼迫を背景に、賃料は上昇しています。米ネット小売大手の進出が物流施設の賃貸需要の有効な牽引役になる可能性があり、REITはその恩恵を享受できると見込まれます。

【オーストラリアREIT指数の推移】
(2014年12月末～2018年2月2日)



※REIT指数はS&P 豪州REIT指数 (豪ドルベース、配当込み)
※グラフ起点を100として指数化

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

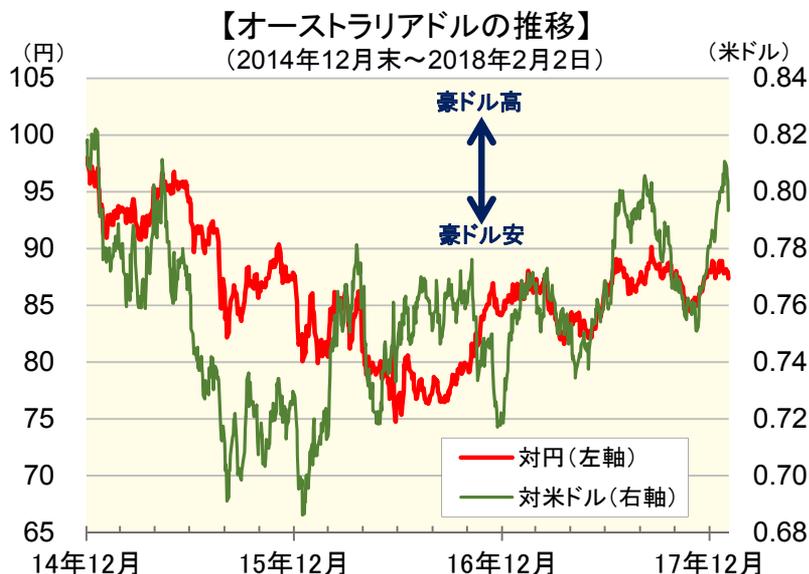
■当資料は、投資者の皆様に「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型)／(1年決算型)〈愛称: まるごとオージー〉」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



足元の投資環境について：オーストラリアドル

2018年初以降、オーストラリアドルは、円に対してやや下落しました。オーストラリアの小売売上高や住宅建設許可件数が市場予想を上回ったことなどが下支えになったものの、日銀の金融緩和政策が縮小されるとの見方が高まったことから円が買われたことや、オーストラリアの貿易収支が市場予想に反して赤字となったことなどが下落要因となりました。

特に1月下旬以降は、対米ドルで、米国を中心とした金利上昇懸念の高まりなどを背景とする調整がみられたものの、内需の底堅さなどから、調整は一時的なものと思われます。



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ファンドの特色



特色 1

オーストラリアの債券、株式、不動産投資信託(REIT)を
主な投資対象とし、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。



特色 2

3資産の基本組入比率は、債券50%、株式25%、REIT25%とします。



特色 3

お客様の運用ニーズに応じて、「毎月分配型」と「1年決算型」の
2つのコースからご選択いただけます。

※市場動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券、株式および不動産投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式および不動産投信の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型)／(1年決算型)〈愛称: まるごとオージー〉」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	下記のいずれかに該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。 ●購入申込日が、オーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日 ●購入申込日の翌営業日が、オーストラリア証券取引所の休業日またはシドニーの銀行休業日 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2028年10月16日まで(2018年1月31日設定)
決算日	【毎月分配型】毎月14日(休業日の場合は翌営業日) 【1年決算型】毎年10月14日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	下記のいずれかに該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。 ●換金請求日が、オーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日 ●換金請求日の翌営業日が、オーストラリア証券取引所の休業日またはシドニーの銀行休業日 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.3662%(税抜1.285%)程度を乗じて得た額 信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.783%(税抜0.725%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.5832%(税抜0.56%)程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・インカム・バランス・ファンド(毎月分配型)／(1年決算型)〈愛称: まるごとオージー〉」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【毎月分配型】／【1年決算型】

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○		

(資料作成日現在)